

海外安全対策情報

平成27年9月末現在

1. 治安・社会情勢

ミシガン州、オハイオ州ともに侵入盗、窃盗及び自動車盗の増加が顕著です。今後は気候が寒くなるに伴い、屋内での発生が比較的多くみられる上記の様な盗難事件が増加すると予想されます。また、強盗や侵入盗は、ミシガン州及びオハイオ州ともに個人への被害の割合が商業施設に対する被害と比較して高い傾向にあります。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館管轄地域内（ミシガン州、オハイオ州）の主要都市及び在留邦人が多数居住している地域の犯罪種別ごとの発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2015年7月1日から同年9月30日。括弧内は前3ヶ月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	加重暴行	侵入盗	窃盗	自動車盗等
ミシガン州	トヨタ	81 (+7)	17 (-80)	1118 (+214)	2688 (+98)	2548 (+628)	4137 (+323)	2087 (+208)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	3 (+2)	53 (+9)	18 (+11)	32 (+6)	47 (+8)
	アナーバー	0 (±0)	19 (+10)	12 (+5)	146 (+37)	88 (+50)	211 (+12)	234 (+89)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (±0)	2 (-1)	21 (±0)	26 (+7)	110 (+21)	67 (±0)
	コロンバス	3 (+1)	1 (-5)	87 (-19)	43 (+5)	202 (+12)	481 (+26)	228 (+10)
	シンシナティ	0 (-3)	11 (-8)	88 (-37)	47 (+14)	120 (+47)	500 (+49)	4 (+3)

3. テロ・爆弾事件発生状況

米国内において具体的な情報には接していませんが、国際的に見るとイスラム過激派組織ISILが日本を標的として名指しており、海外のいかなる地域においても日本人がテロに巻き込まれる可能性は否定できません。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

8月下旬から9月は、現地の学校の新学期に伴い児童の通学が始まります。この時期は児童が不審者に声をかけられるなど誘拐と思われる事案が発生する傾向がありますので十分ご注意願います。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

当地における対日感情は良好であり、当該具体的情報には接していません。